

奥州胆沢クラブ 初優勝

東北小学生バレーボール選手権

花巻が2年連続V

男子



勝利の瞬間、コート上で飛び跳ねて喜び選手たち



初優勝の奥州胆沢バレーボールクラブ

第20回東北小学生バレーボール選手権大会は13、14日、奥州市総合体育館などで行われ、女子の部で本県第一代表の奥州胆沢バレーボールクラブが決勝で大住クラブ(秋田)を2-0で下し、初優勝を輝いた。胆沢勢では、男子の金ヶ崎VBCが決勝トーナメントに駒を進めたものの、1回戦で稲垣少年クラブ(青森)に敗れた。男子は、今季全国大会3位の花巻が2年連続2回目の優勝を輝いた。

- 【男子】
- 予選リーグ
 - ▽1組 ①岡山 稲垣 2勝②東部(宮城) 1勝1敗③岩手(青森) 2敗
 - ▽2組 ①稲垣 青森 2勝②山形東山形 1勝1敗③大森秋田 2敗
 - ▽3組 ①花巻 岩手 2勝②高久福島 1勝1敗③中野(宮城) 2敗
 - ▽4組 ①高松(山高) 2-0高松 形 2勝②金ヶ崎VBC (岩手) 1勝1敗③AD VANCE秋田 2敗
 - ▽交流トーナメント
 - ▽1回戦 花巻2-0岡山 岩木2-0大森 中野2-0ADV
 - ▽決勝 花巻2-0岡山 (花巻は2年連続2回目の優勝)
 - 【女子】
 - ▽1組 ①木崎野小 2勝②旭川(秋) 1勝1敗③若浜(山形) 2敗
 - ▽2組 ①奥州胆沢 城1勝1敗③好間 稲垣 2敗
 - ▽3組 ①大住(秋) 2勝②追愛会(宮) 1勝1敗③大新(岩手) 2敗
 - ▽交流トーナメント
 - ▽1回戦 木崎野2-1宮野浦 奥州胆沢2-0旭川 大住2-0堀越 追愛会2-1小山田
 - ▽決勝 奥州胆沢2-1木崎野 (奥州胆沢クラブは初優勝)

ついに東北の頂点

奥州胆沢 クラブ

女子は奥州胆沢バレーボールクラブが決勝で大住(秋田)にストレート勝利。勝利の瞬間、選手、監督、コーチが飛び上がり、優勝を喜び合った。

持ちで戦ったと高田主将。自身に集まるボールはすべて強打。拾われても何度でも強打。セッター高橋も「打ちやすいたすを心掛けた」と話す通り前後左右に巧みなトスワーク。佐々木を含む3人の連携が勝利を大きく引き寄せた。

今夏の全国大会にも出場した奥州胆沢クラブ。予選リーグから順当に勝ち上がったが、準決勝の木崎野小クラブ(青森)戦で大きなヤマ場。第1セットを奪うも木崎野小・野呂桃花主将(6年)の角度のあるレフトアタックが止まらず、第2セットを失い試合はフルセットへ。奥州胆沢クラブの高田帆南主将(6年)と野呂主将の激しい打ち合いとなったが、最後は守備力に劣る奥州クラブが振り切った決勝進出を決めた。

「絶対に勝ちたいという気持ちで戦った」と高田主将。昨年から県内主要大会で1セットも失わない連勝が続く奥州胆沢クラブ。夏の全国大会に出場したため、冬に行われる県育成大会で優勝しても全国出場権は得られないが、当然最後まで全勝を狙う。「チーム1つになって戦いたい」と高田主将。次に続く後輩たちのためにも、強い勝ち方で締めくくるつもりだ。

「絶対に勝ちたい」という気持ちで戦ったと高田主将。昨年から県内主要大会で1セットも失わない連勝が続く奥州胆沢クラブ。夏の全国大会に出場したため、冬に行われる県育成大会で優勝しても全国出場権は得られないが、当然最後まで全勝を狙う。「チーム1つになって戦いたい」と高田主将。次に続く後輩たちのためにも、強い勝ち方で締めくくるつもりだ。